

平成30年度第3回ICT利用教育改善研究発表会運営委員会
議事録

I. 日時 平成31年2月6日(水) 16:00~18:00

場所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 東村委員長、友永委員、渡邊隆俊委員、田中宏明委員、田中豊委員、服部委員、
山本委員、渡辺淳委員(ネット参加)

(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

今回は主に、2019年度の発表会の方針、発表募集要項と発表会論文・発表申込書式の見直し、および今後のスケジュールについて確認した。

1. 2019年度の発表会について

2019年度発表会に向けて以下の点を検討した。

(1) 発表会の開催方針確認、開催日・会場

- ① 新年号となるため、募集では2019年度と西暦表記をすることとした。
- ② 発表募集要項決定次第、メールによる案内(サイバーFD 研究員、発表会参加者他)を行い、書面による案内(加盟校の会員代表者と加盟校・非加盟校の大学長)も速やかに行うことを確認した。
- ③ 発表会(1次選考会)は、2019年8月9日(金)東京理科大学森戸記念館とした。

(2) 発表募集要項

- ① 発表募集要項にテーマ「教育の質転換を目指すICT利用」を付けていることを確認した。
- ② アクティブ・ラーニングの言葉が広く浸透してきたことから、発表募集要項冒頭のアクティブ・ラーニングに付けていた(能動的学修)の表現を除くとともに、発表会の趣旨を明確に示すため、「ICT利用によるアクティブ・ラーニング」と表記することとした。
- ③ 以上の他は、前年度と同様とした。

(3) ICT利用による教育改善発表会論文の体裁・書式

- ① 「教育実践による教育効果とその確認」における「客観的に改善効果を示すための参考例」としての表記について検討し、明確な客観性の観点から、量的分析と質的分析と分けた表記は省き、(例1)~(例5)に「(例6)第三者による外部評価で効果が認められた。」を加え、質的分析の(例1)~(例3)は除くこととした。
- ② 発表者が論文作成時に「発表会論文のフォーマット」の記載内容を認識するよう表記し、発表会論文(A4判4枚)の文字ポイントや行数を遵守するよう注意を促すこととした。
- ③ 以上の他は、前年度と同様とした。

(4) 「発表申込」の体裁・書式

以下の点を検討し、修正・決定した。

- ① 「発表で扱っている授業について」の項目について、大学院を対象としていないことから、「学部・研究科」を「学部」とした。
- ② 「ICTを活用した取り組み」を「ICTを利用した取り組み」に、また「アクティブ・ラーニング(能動的学修)」を「アクティブ・ラーニング」の表記に改めた。
- ③ 「発表内容」における「教育実践による教育効果」の説明は「ICTを利用した」を加え、「ICTを利用した実践による教育効果とエビデンスを示して下さい」の表記にした。
- ④ 以上の他は、前年度と同様とした。

2. その他(今後のスケジュール等について)

- ① 発表募集から書類選考、発表会と一次選考、二次選考等の予定スケジュールを確認した。
- ② 退任委員が生じるため、事務局にて新たな委員を検討し理事会に委嘱を諮ることとした。
- ③ 次回の委員会は、2019年5月18日(土)とした。